厳しい寒さの冬の季節が終わり、日に日に温かさを増し、春の息吹が感じられるようになりました。この佳き日に、PTA会長をはじめ保護者の皆様の御臨席を賜り、埼玉県立日高特別支援学校卒業証書授与式が挙行できますことに、卒業生をはじめ、在校生、職員一同、心より感謝申し上げます。

本日ここに卒業証書を授与された高等部卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、本日のお子様の御卒業、誠におめでとうございます。心よりお喜び申し上げますとともに、これまでの本校の教育活動に深い御理解と、心強い御支援を賜りましたこと、謹んで御礼申し上げます。

皆さんと過ごしたこの一年を振り返ると、令和七年度は、私たちを取り巻く環境や世界情勢が大きく変化しました。スマートフォンや人工知能の更なる発展は、コミュニケーションの壁を越える助けとなり、自動運転技術は移動や生活の自由度を高めています。これらの技術の発展は、誰もが自分の力を発揮できる社会の実現につながっていきます。

一方で、世界では未だ争いの火種が絶えることなく、むしろ拡大し続けています。価値観の異なる人々を受け入れようとする寛容の心が失われつつある現状に、私たちは深い憂いを感じます。自分と他者の共通点を見つけて仲間意識を育むのではなく、違いばかりに目を向けて数え上げるだけでは、偏見や差別を広げる結果にしかなりません。

こうした変わりゆく社会の中で、皆さんが身につけた「困難に立ち向かう力」と「自分らしく生きる力」は、何にも代えがたい宝物です。これらは激動の令和時代を逞しく生き抜いていくための、確かな基盤となることでしょう。どうか、その力を信じて未来を切り開き、「違いを恐れず、共に歩む心」を大切にしてください。

相手の話に耳を傾けること、相手の立場を思いやること、自分自身も素直な気持ちで伝えることが、理解と尊重の第一歩です。そして、自分と異なる考えや文化を積極的に学び、多様な価値観を認め合うことが、強い絆と平和な社会を築く鍵となります。

しかし、そうした思いが打ち砕かれる出来事も、これから先幾度もあることでしょう。そんなときは、日高特別支援学校で過ごした日々を振り返ってください。自分一人では叶えられなかったことも、友達の存在、先生方や保護者の支援によって、ゆっくりでも、少しずつでも実現させてきたではありませんか。

新しい生活では期待と不安が入り混じるかもしれませんが、これまでの学びと力を信じ、自信をもって未来に挑戦してください。自分の個性を大切にし、周囲の多様な人々とのつながりを深めることで、さらに豊かな人生を築いてください。

最後に、保護者の皆様、これまでのご支援に改めて深く感謝いたします。教職員の皆様も、温かく丁寧な指導と支援を続けていただき、誠にありがとうございました。

卒業生の皆さんが輝かしい未来への一歩を踏み出す日を心よりお祝い申し上げ、式辞といたします。

令和八年三月十三日

埼玉県立日高特別支援学校長　佐藤　康成